

4月は新人がオリエンテーリングに出会う季節。つくばの森もそのひとつ。

2010年4月25日 茨城県つくば市
関東甲信越ブロック会議と筑波大学新歓

大学内を探検

森の中に大学が埋まっている。茨城県にある筑波大学はそんなイメージだ。部室の横からスタートし、大学、寮、周辺の森を駆け抜け、部室の前でフィニッシュ。E-cardを持って部室に戻ると、すぐにラップが打ち出される。

広いと言われている筑波大学だが、オリエンテーリングの速度で駆け抜ければ、大学のオモテもウラもあつと言ふ間に知りつくす。

森を駆ける新人たち

4月25日(日)に行われた筑波大学の^{新歓}オリエンテーリングにエキストラ参加させていただいた。あくまでも新入学生勧誘イベントが主体。邪魔にならないように新人に先立ってスタートさせていただいた。

まずは2kmのパーク0コースを全力で1周。スプリントコースとして充分楽しいトレインだ。平坦で走れる森がある。池がある。複雑な形をした寮がある。大学周辺には立体構造がある。初めて走った筑波大学の学内トレインに興味津々。

そのあと同じコースをジョグで1周。新人の最後を追ってランオブ状態。

最初からこんなコースを経験していればオリエンテーリングの本質を理解しつつ入部してもらえるだろう。

キャンパスマップの重要性

地方大学は一般的に都市部から離れた場所にあることが多く、大学周辺の地図が作成されている場所が多い。

大都市圏の大学では本格的なトレインではないにしても学内MAPを作成して学内行事に使用している大学クラブが数多く存在する。こうした大学の学内で簡単に使用できる地図の存在が大学の^{新歓}活動を支え、ひいては日本のオリエンテーリングを支えているとも言える。



筑波大学

森を駆ける恋人達

西地区

追越・平砂地区

縮尺1:4000

等高線間隔2.5m

2009 Jan
Shigeyuki Koizumi

新歓オリエン体験会
4/25



会議の様子。(昼の部)

(木村佳司)

関東甲信越ブロック会議

各地域でオリエンテーリング関係者が集まって、いろんな形態で会議が行われている。

関東甲信越でも都県協会の代表者が年に1回集まって会議が開催されている。いろんな情報が交換され、情報共有の場として機能している。またそれ以上に親睦を深めてその後の連携活動をスムーズに行うことができるという点が見逃せない。

今年度は4月24日(土)に茨城県でこの会議が開催され、その参加者は翌日行われた筑波大学の^{新歓}行事にエキストラ参加させていただいた。